

彩のかがやき 高温対策を実施しましょう！

令和4年8月5日
埼玉県農林部

彩のかがやきの生育状況

記録的に早い梅雨明けとその後の高温により全般的に葉色が低下しています。
早植栽培（5月植え）、普通期栽培（6月植え）ともほぼ平年並に生育しています。

今後の見通し

気象庁は8月4日に高温に関する早期天候情報として、8月10日頃からかなりの高温となるとの予報を発表しました。出穂後20日間の平均気温が27℃を上回ると、白未熟粒の発生する危険性が高まります。

対 策

今年の出穂後20日間は高温になる可能性が高い！

彩のかがやき穂肥施用時期の目安

1 葉色確認と穂肥

白未熟粒の発生を軽減するために最も重要な対策は、葉色診断に基づく適期・適量の穂肥の施用です。

田植時期	穂肥施用①	穂肥施用②	出穂期予想時期
5月20日	7月21日	8月2日	8月12日～14日
6月1日	7月24日	8月6日	8月16日～18日
6月10日	7月26日	8月10日	8月20日～21日
6月20日	7月30日	8月14日	8月24日～25日

基肥＋追肥体系でも基肥一発体系でも、穂肥施用②の時期（出穂15～10日前）に葉色が4を下回った場合必ずチッソ成分で2kg/10a程度の追肥を行いましょう。

2 水管理

穂肥施用時期～出穂7日後までは湛水状態を保ち、それ以降は入水したら水口を閉め、自然に落水させる間断かん水を行い根の活力維持に努めましょう。また、早期落水は避けてください。

農作業中の熱中症にご注意ください。